

(テーマ) 子育て世帯とその他の人との交流

(現状と課題)

- ・ 小学校に入ると地域とのつながりがでてくるが乳幼児期には機会がない。
- ・ 同じマンションに住んでいてさえ、名前の知らない子どもがいる。
- ・ 未就学児に活動してくれる大人が少ない。
- ・ 一声かけられる関係になる場もない。
- ・ 人から言われるとへこむ（親）。
- ・ 年配者と交流しようとするとお説教される。説教したくなる親がいるのも事実。
- ・ 子育て世代同士でも、幼稚園と保育園の保護者同士の交流がない。
- ・ 父親の出番がない。
- ・ 区立保育園に保護者会がない。

(解決策)

- ・ 地域の人にも子どもを取り巻く現状を知ってもらい機会を作る。
- ・ 預かり合い（自主保育など）ができる関係づくりと場の提供
- ・ 学校や空き施設を貸して、幼稚園の夏休みの開放
 - ⇒ 地域の人が見守ってくれるとよい。
- ・ 幼児から伝承遊びを年輩者から教わるもの
- ・ シルバー、高校生など年代にかかわらず、ボランティアとして関って。
 - ⇒ いつも同じところに同じ人がいてくれると安心。
 - 街での声かけや公園にいてくれて、みんなが少ない子ども、親子に関わってくれる地域になればいいな。

(テーマ) 小中学生の居場所

問 題 点	提 案
小中学校でのコミュニティスペースがない。	空き教室を利用して、地域の大人が関わる。
お祭り（イベント）がない。	町会のお祭りに子どもたちを取り込む。
子どもが安心して活動できる場所がない。	子どもに役割を与えて関係性をつくる。
部活等、子どもの活動の情報が少ない。	学校、地域の HP で情報を公開してほしい。
心の居場所（思春期）がない。	親・地域の大人への啓蒙。
活動の場での制約が多い。 (ボール投げの禁止)	一人で考える時間をつくれる居場所

(テーマ) 青少年の居場所

(現状) ・新宿での青少年の居場所

目的明確派

塾、音楽スタジオ（ライブ練習場）、学校（部活）

目的不明瞭派

ゲームセンター、ファーストフード店・ファミレス、ショッピング街、コンビニ、インターネットの世界、カラオケ、漫画喫茶、レンタル（ビデオ・CD・DVD）ショップ

(理想) ・青少年が主体的に行動し、地域の中で成長していく。

(問題点) ・自分のやりたいことが見つからない。
・区の決断やりたいことを見つけられる場（環境）がない。
・青少年の多様化

(提案) ・やりたいことを見つけられるような多様な場を提供する。

例) 大人はサポートのみ、ハードは大人（場所：建物）、ソフトは子ども（企画・運営など）
社会との接点を持つ
地域との関わり合い
身近な先輩（大学生）などとの交流

(テーマ) 気がついてほしい親の役割

- (現状)
- ・コギャル世代が親になり (バブル期)、私は私、子どもは子ども。
 - ・虐待 自分の思い通りに子どもを動かしたい。
 - ・最悪の場合は「この子がいなければ・・・」との思いから、手をかけてしまう。

- (問題点)
- ・親が子どもの人格を認めない。
 - ・親が人の話しを聞かない。
 - ・親が子ども 仲良し親子。

(課題)

- ①出てこない ⇒ 人との関りが苦手な人 時間がない人
をどうするか。
- ②出てくる人 ⇒ 成功事例 共通の悩みを語り合う。
井戸端会議 ロールプレイング

- (解決策) 「おせっ会の仕組みづくり」

(テーマ) 子どもの安全な居場所のためにスペースを確保

(現状) ・既存の施設（公園、学校、児童館等）が自由に使えない。
・安全で自由に使えるスペースがない。

(問題点) ・子どもの行き場所がない。
・コミュニケーションを取れない状態にさせられている。

(課題) ・建物、スペースの管理等を担う人材を育成する。（準備期間を充分とる）
・区の決断

(解決策) ・廃校の再利用を子ども達に考えさせる。
・更地に子ども達自身がつくる。（ログハウス、木を植える）
・大学、企業にいろいろ（物資、人材等）協力してもらう。
・管理・運営費を賄うために貸スペースで収益をえる。

(テーマ) 都市の中の自然環境実体験の場・未来に伝える伝承の場

- (問題点)
- ・ 地域社会への帰属意識が少ない。
 - ・ 公園が有効に利用されていない。
 - ・ 自然体験の場が少ない。
 - ・ 子どもの遊びの伝承がない。
 - ・ 地域社会の担い手がいなくなる。

- (解決策)
- ・ 公園のルールの改善。
 - ・ 緑に対する意識を育て、緑を増やす。
 - ・ 子どもに対する遊びや文化の伝承の場を地域ごとにつくる。
- (寺子屋、塾)

上記の方法で市民意識に目覚めさせる。そして未来につなげていく。